

# 林業安全コラム

怖いのは 慣れた作業と その油断

◆ 7月1日から7月7日は全国安全週間です。

「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」のスローガンの下、実施要綱では、林業での労働災害防止対策について下記事項の徹底について提唱しています。

- ① 新規就業者等経験の浅い労働者に対する安全衛生教育
- ② 間伐作業での安全対策
- ③ 安全な手順に基づく「かかり木」処理

各都道府県におかれては、本週間に当たり次の事項の実施について、ご協力をお願いします。

- 伐木造材作業、かかり木処理作業等に係る安全作業の点検・指導
- 林業現場の緊急連絡体制の確認・指導
- 振動障害予防対策、蜂刺傷災害対策に向けた指導



◆ 熱中症に十分な注意を！

熱中症の発生は7～8月がピークになります。昨年は熱中症による死亡者数が21人で、林業では刈払作業中に2人が死亡しています。

熱中症は、高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく動かないことにより、筋肉痛や大量の発汗、吐き気や倦怠感、意識障害などが起こります。

熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です。

林業の現場において、日陰の利用、こまめな休憩、通気性の良い吸湿・速乾の衣服の着用。また、保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却などの対策をお願いします。



◆ 林業労働災害の発生事例について（類似災害防止のために！）

被災者を含めた4名で、間伐材丸太をグループによりトラックに積み込む作業に従事。同僚が現場を離れ、5分ほどして戻ったところ、被災者がトラック近くの地面に倒れているのを発見。

被災者は、積み込みを修了し、荷台に上がって材の整理をしていたが、何らかの原因で荷台の上から約3m下の地面に転落したものと推測。なお、付近には長さ3m、直径25cmのスギ丸太が転がっており、丸太の落下に巻き込まれたものと思われる。



6月22日、プノンペンで開催されていた第37回世界遺産委員会において、世界文化遺産に推薦していた富士山について、三保松原も含め、世界遺産への登録が決定されました。

労働安全衛生班  
林業労働対策室